

シックス

SICSを活用した 地方自治体SDGsモデル

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



×



サンネット株式会社

1. サンネットの紹介

2. SICSとは?

2-1. 着想ヒント

2-2. システムの特長

2-3. 実現できたこと

2-3-1. 技術的革新

2-3-2. 働き方改革

3. SDGsとの整合性

3-1. SDGsとは?

3-2. SICSによるSDGsの実現

4. 今後の展望

4-1. 障がい者雇用枠の拡大

4-2. 「かながわ障害者雇用優良企業」認定にチャレンジ

1. サンネットの紹介

会社名	サンネット株式会社
本社	〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-6-1 小田原第一生命ビル 3階 Tel:0465-22-9707
東京本社	〒163-0703 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル 3階 Tel:03-6844-3600
URL	http://www.sunnet.co.jp/
設立	1969年10月1日
資本金	3,200万円
従業員数	177名 (令和3年4月1日現在)
売上高	14億81百万円 (令和2年6月決算期)
関係会社	株式会社八王子情報センター 株式会社アラウダ
認可	QMS (ISO/IEC9001) ISMS (ISO/IEC27001) Pマーク (JIS Q 15001)
事業内容	アウトソーシング 情報システムサービス 情報システム開発

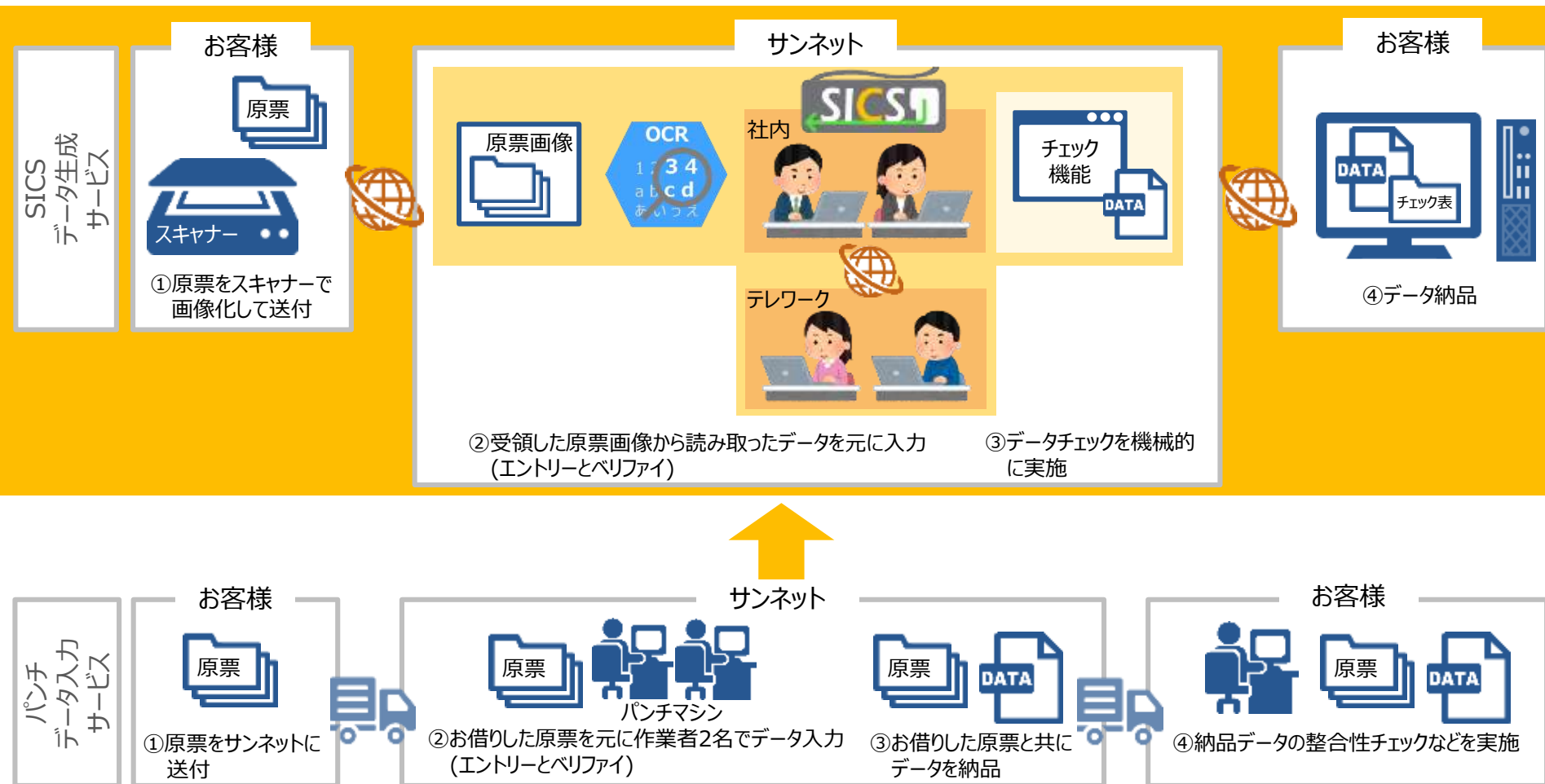


サンネット株式会社

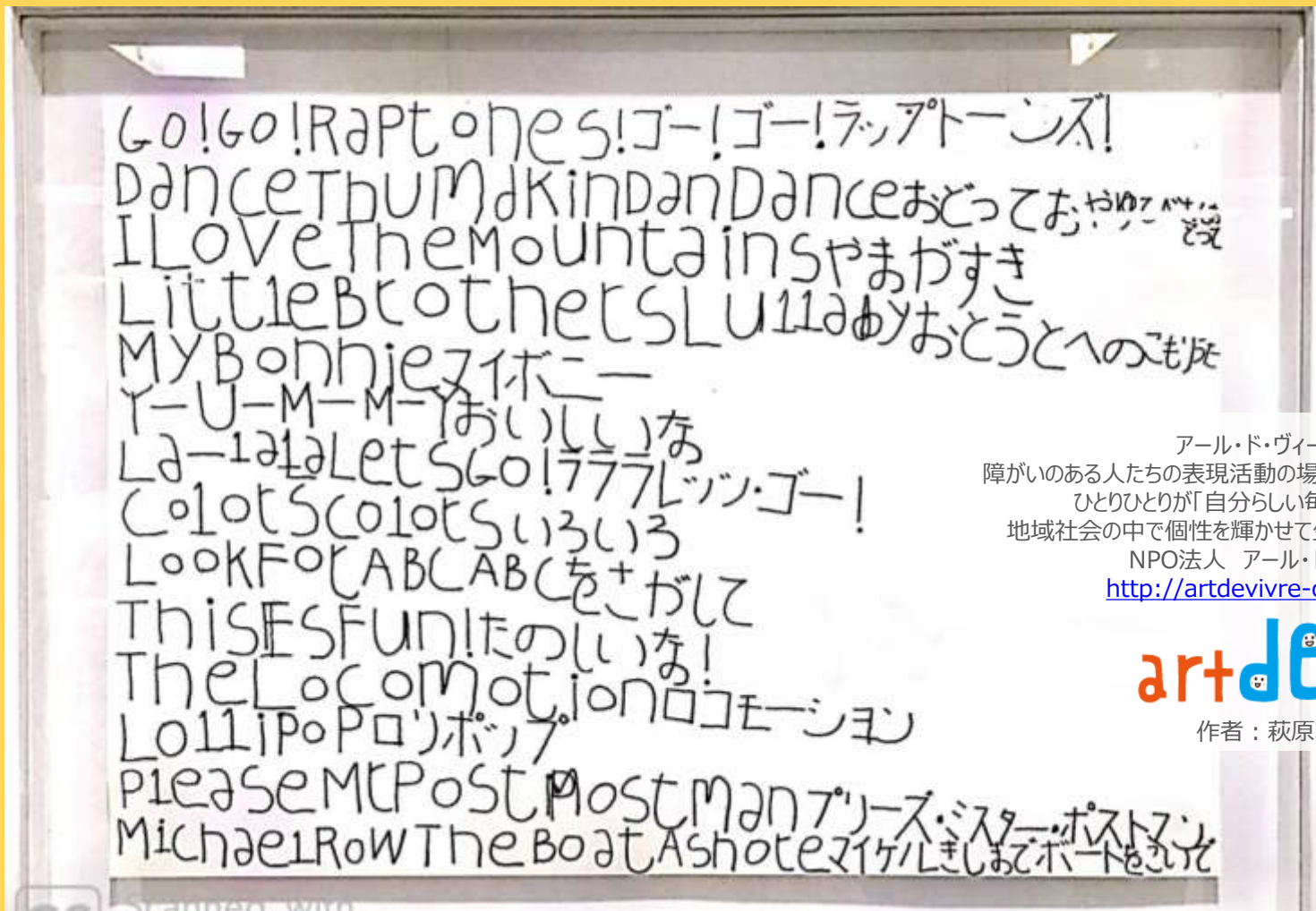


2. SICCSとは?

SICCSは、Sunnet Input Cloud Systemの略称です。OCRを利用した新しいデータ生成サービスです。一般的なパンチ入力作業は、専用のパンチマシンを利用し、習熟したパンチャーがデータ入力作業をします。SICCSを使ったデータ入力作業は、普通のパソコンで一般人でも簡単にデータ入力作業ができるようにしました。インターネット接続できるウェブブラウザを搭載したパソコンさえあれば、テレワークでもデータ入力作業が可能です。またデータ入力作業各々の入力処理能力に応じた最適な作業内容と作業量を分配できる仕組みです。



2-1. 着想ヒント



アール・ド・ヴィーヴルは
障がいのある人たちの表現活動の場を提供するNPO法人です。
ひとりひとりが「自分らしい毎日の仕事」をもち
地域社会の中で個性を輝かせて生きることを願っています。
NPO法人 アール・ド・ヴィーヴル
<http://artdevivre-odawara.jp/>

artdevivre
アール・ド・ヴィーヴル

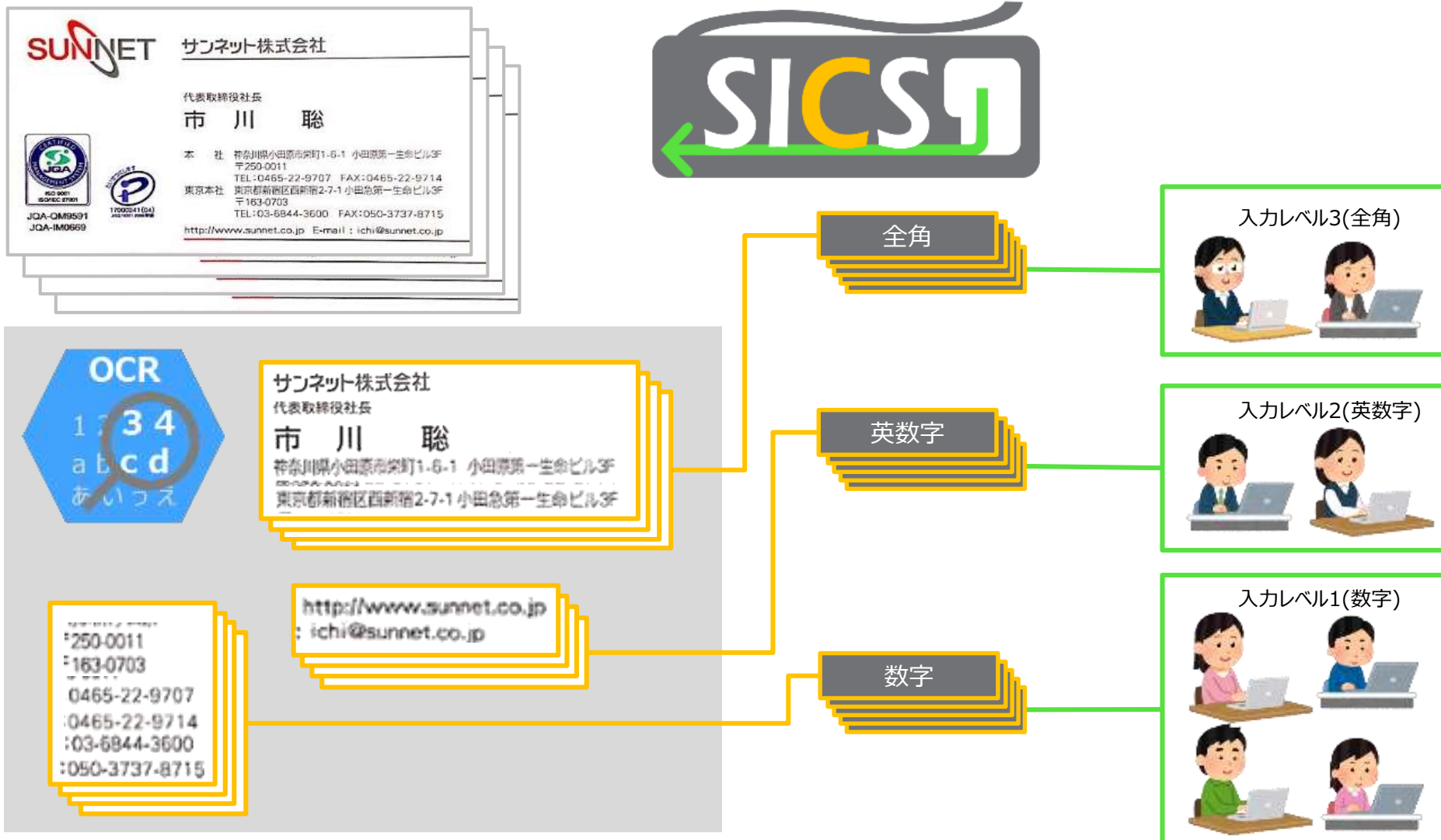
作者：萩原幹大



この絵画を観た時に障がいを持つ方々との協業の可能性を感じました。障がいのレベルによって識字率は変わりますが、その識字率に応じた「仕組み」さえ用意できれば、障がいを持つ方々もデータ入力要員として戦力化できるのではないかと考えました。この発想の転換が、SICS誕生のきっかけです。

2-2. システムの特長

SICSは、画像データから入力したい項目だけを切り出し、OCRを利用して文字化し、DBへ登録します。その際に項目の属性も同時にDBへ登録します。項目を属性でグルーピングできるようになったことから、分解した項目を属性毎にまとめ入力できるようになり、作業の並列分散処理化を実現しました。



2-2. SICS画面イメージ

同じ項目をまとめ入力することにより生産性の向上が図れました。またインクルーシブデザインを採用し、誰でも判り易い視覚的な画面も実現しています。文字の属性や難易度別に入力者を振り分けられるため、入力者の能力に応じた仕事の分配が可能となり、作業の負荷分散とコストダウンを同時に実現しました。そして、入力実績ビックデータから入力者の入力時間、正誤率、不得意傾向等を解析し、入力者当人に修正ポイントをフィードバックし、能力向上を図っています。



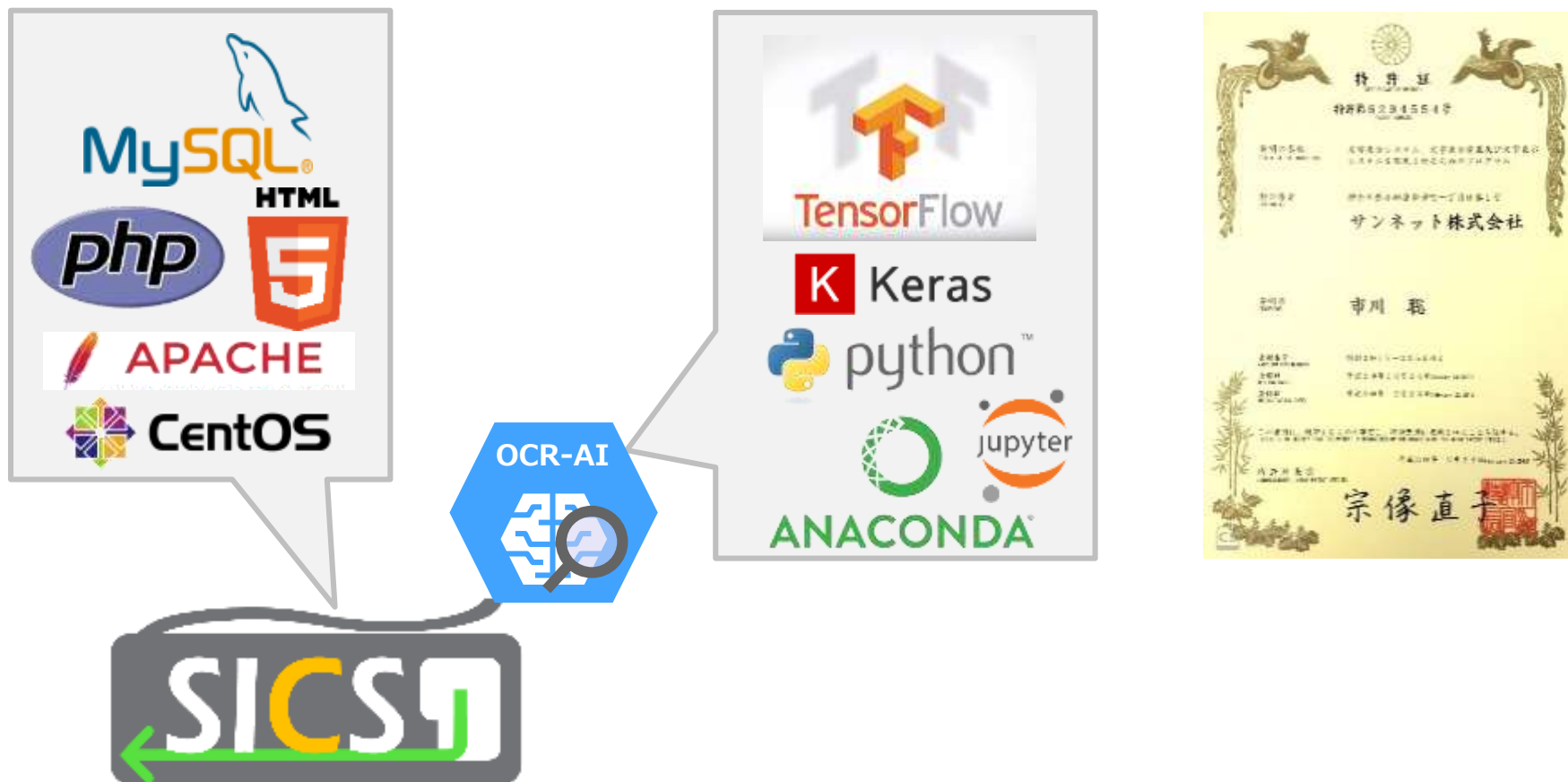
動画の投影
(谷岡さん・中村さん・森さんのSICS作業)

2-3. 実現できたこと

SICSを構築したことにより、技術的革新・働き方改革・障がい者の就業トレーニングのサポートの3点を実現しました。

2-3-1. 技術的革新

最新のウェブテクノロジーを投入し、今後のDXにも追従可能なCloud型システムを実現しました。また、このシステムで特許も取得しています。現在はSICSでAI-OCRの立証実験を実施中です。



2-3. 実現できたこと

2-3-2.働き方改革

仕事の配分を入力作業者の能力に応じて分配可能になったことから、新たな雇用の創出方法が実現しました。その結果、障がい者雇用率2.2% (4名)も達成しています。

(例)仕事の要件 → 7/9

①	②	
③	④	⑤
⑥		⑦

||
4/9でもOK
+
3/9でもOK

今までの弊社採用基準では、7つの要件を全て満たす要員だけを採用していました。障がい者雇用枠として、この要件をn個満たすことができれば採用する方針に変えたことで、新たな雇用の創出を実現しました。

同時にコスト低減や生産性向上などの付加価値も創出できました。



弊社掲載記事：



タウンニュース



広報小田原



FNNプライムオンライン

2-3. 実現できたこと

2-3-3. 障がい者の就業トレーニングをサポート

SICS作業者の裾野を開拓する一環として、特別支援学校の情報の授業でSICSが使用されています。この授業がきっかけとなりSICSに興味を持った生徒さんを実習受け入れし、そのまま採用する実績も増えています。

またB型就労施設や特例子会社などの障がい者施設でもテスト入力が始まっています。現在は、実業務による協業体制を模索するフェーズに移行中です。

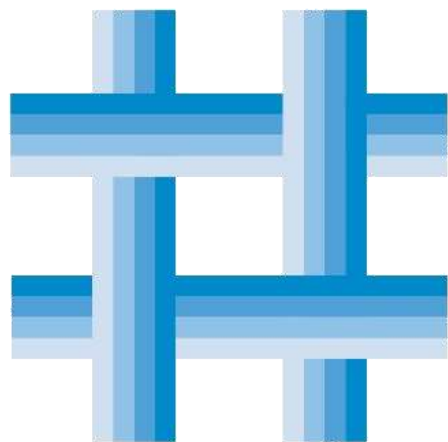


動画の投影
(特別支援学校の授業風景)

4-2. 「かながわ障害者雇用優良企業」認定にチャレンジ

SICSはSDGsの実現と同時に、2016年10月に神奈川県議会で採択された「ともに生きる社会かながわ憲章」にも合致する施策であると考えます。

今後の目標として、障がい者雇用率を2.2%→4.0%以上を実現し、「かながわ障害者雇用優良企業」の認証を取得し、自治体ビジネスのデータ入力業務などで優先調達を実現したいと考えます。



ともに生きる社会
かながわ憲章

平成28年10月14日
神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/cnt/f535463/index.html>

3. SDGsとの整合性

弊社では、SICSによる障がい者との共生が共働作業となり、そして同じ目標に向かう共益事業者となりました。

この成果をSDGsと照らし合わせることで、今後の魅力的な施策に発展させたいと考えます。

3-1.SDGsとは？

SDGs(=Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。17の目標(Goals)と169のターゲットで構成されており、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げています。国連に加盟する193ヶ国の発展途上国および先進国の政府と企業がSDGsに対して積極的にアプローチすることで、より良い世界にすることを目標にしています。

国内でも注目を浴び始めており、小田原市はSDGs未来都市として国から選定されています。弊社はSDGsパートナーとして小田原市に登録されています。

Think
MIRAI
ODAWARA 2030

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

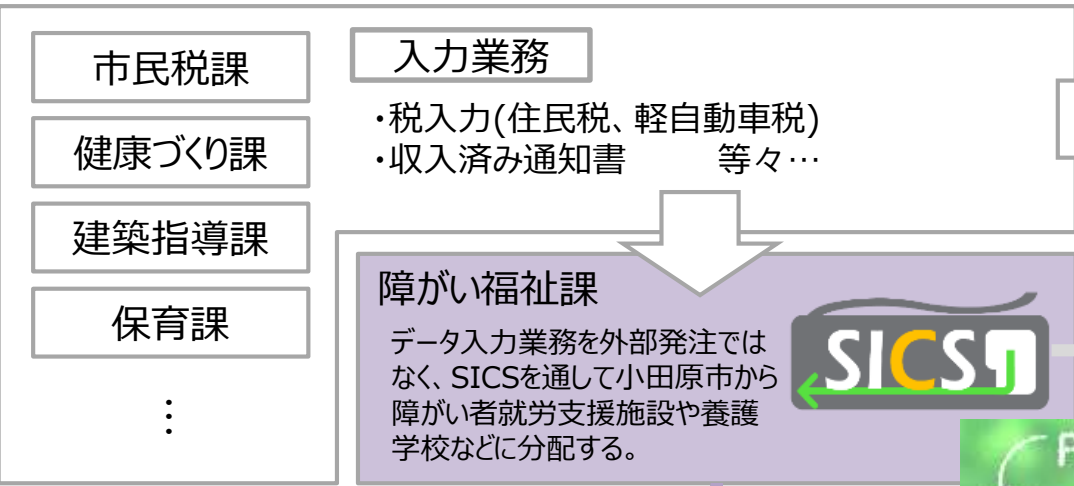


SICSを活用した地方自治体SDGsモデル

2021年7月1日より小田原市の収入済み通知書の入力作業をSICSで対応しています。障がいのある社員も作業に従事していますが、加えて小田原市障がい福祉課から紹介いただいた未就業の障がい者4名もこの入力作業を有償で手伝っています。今まで諸般の事情で就業が出来なかった障がい者の方々が報酬と共に、働く喜びや生きがいを見出され、感謝の言葉を頂きました。この地域循環モデルは、自治体SDGsモデルと言って過言ではないと考えます。



小田原市



外部委託



従来のデータパンチ業務も引き続きサンネットに請負う事も実施。



SICS運用のサポート/保守を請負う。SICSで入力したデータはサンネットのセキュアな環境下で保管。

協業体制



弊社は、SICSを自治体へSaaSで貸与。
自治体は、障がい者施設もしくは障がい者へSICSを直接利活用してデータ入力を依頼。その対価を支払う。対価の支払いに支障を来す場合は、対価をポイント化して物に変換して寄贈する。
その地域に在住する障がい者の詳細情報を知り得るのは自治体のみ。今まで在宅で働けなかった障がい者の雇用創出にも繋がり、生活保護等の自治体負担も軽減できると考える。